



平成 21 年 1 月 8 日
内 閣 府
政策統括官 (科学技術政策・イノベーション担当)

総合科学技術会議 科学技術連携施策群 ナノバイオテクノロジー連携群
成果報告会の開催について

標記の成果報告会を下記のとおり開催します。成果報告会は、一般に公開する形で行いますので、傍聴を希望される方は下記のWeb により登録してください。

主催：内閣府

共催：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省

日時：平成 21 年 1 月 28 日 (水) 11 時 00 分～17 時 00 分

場所：日本科学未来館 みらいCANホール、第3会議室

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-1

一般傍聴者の受付 (参加申込等の詳細についてはこちらにお問い合わせ下さい。)

<http://www.renkei.jst.go.jp/sympo/nanobio03/index.html>

独立行政法人科学技術振興機構 科学技術連携施策群支援業務室

ナノバイオテクノロジー担当 成果報告会係：野村

TEL：03-3595-6208 FAX：03-3595-6210

e-mail：sympo-nanobio-03@renkei.jst.go.jp

(問い合わせ先)

内閣府政策統括官 (科学技術政策担当) 付

ナノテクノロジー・材料担当 大原

電話：03-3581-9940 (直通)

FAX：03-3581-9969

科学技術政策に関するHPアドレスはこちら
<http://www8.cao.go.jp/cstp/s&tmain.html>

総合科学技術会議 科学技術連携施策群 ナノバイオテクノロジー連携群
第3回成果報告会

趣旨： ナノバイオテクノロジー連携群は、総合科学技術会議のイニシアティブの下、科学技術連携施策群の一つとして推進されております。平成15年度から府省「連携プロジェクト」として実施されていた「ナノドラッグ・デリバリー・システム（DDS）」及び「ナノ医療デバイス」に係る研究開発施策を引き継ぐかたちで平成17年に創設されました。

ナノバイオテクノロジーに関する研究開発は、診断・医療・創薬分野のみならず、食品の開発や生体に各種の影響を及ぼす毒物、病因・環境物質の測定などの広い分野への応用が考えられるなど対象とする領域も広く、関連する研究も多岐にわたります。そのため、各省それぞれが担当する様々な研究・施策を有機的に連携させ、基礎研究から実用化・製品化にわたる全ての段階を俯瞰的に捉え、融合を図ることが非常に重要です。これにより、医療・食料・環境の各分野に渡り、革新的な技術開発をもたらし、国民生活の質の向上を目指しています。

総合科学技術会議科学技術連携施策群「ナノバイオテクノロジー」連携群では、昨年度に引き続き成果報告会を開催することになりました。本成果報告会においては、ナノバイオテクノロジー分野におけるこれまでの事業成果や本研究領域の今後の展開について、研究者並びに広く一般の方々に知っていただくことを目指しています。

プログラム（予定）：

- 11:00～ ーポスターセッションー （我が国のナノバイオ施策より、約50課題を発表）
- 13:00 I. 挨拶 総合科学技術会議議員 奥村直樹
- 13:05 II. 基調講演「カーボンナノチューブとバイオテクノロジー」
名城大学、NEC、（独）産業技術総合研究所 飯島澄男
- 13:50 III. 関係各省施策の実施課題の成果発表
文科省、厚労省、農水省、経産省、環境省 関連研究課題
- 15:30 ー休憩・ポスターセッションー
- IV. 補完的課題成果報告
- 16:00 ①「1 遺伝子可視化法による遺伝子ベクター創製」 原島秀吉先生（北大）
- 16:20 ②「生体内分子を可視化するナノセンサ分子開発」 水上 進先生（阪大）
- 16:40 ③「精密構造識別型の電気・光応答バイオセンサ」 井上将彦先生（富大）
- 17:00 V. 閉会の辞 ナノバイオテクノロジー連携群 コーディネーター 梶谷文彦

「本報告会は、総合科学技術会議のイニシアティブの下、平成20年度科学技術振興調整費によって実施されています。」